

学校だより 安佐北

修学・克己・敬愛

広島市立安佐北中学校・高等学校

TEL 082-818-0656-0600 FAX 082-818-5140
web http://www.asakita-h.edu.city.hiroshima.jp

平成 23 年度
第 8 号
2 月 2 4 日
(如 月)
(FEBRUARY)

『学如不及、猶恐失之』 (論語)

「学は及ばざるが如くす。猶之を失わんことを恐る。」

学問は、たとえて言うなら前を歩く人を後から追いかけるようなものだ。人に追いつこうとする時は、なかなか追いつかないばかりか、その人を見失うのではないかという焦りすら生じるものである。学問もそれと同じで、追いかけても追いかけても、目標を見失いがちになる。孔子は、たゆまず学問を積んで君子を目指せと説いている。



◎ 第 12 回全国高等学校版画選手権大会出場決定

第 1 2 回大会初戦審査会が平成 2 4 年 1 月 1 2 日 (木) に開催され、団体部門で本校美術・陶芸部が全国からの選抜校 1 4 校に選ばれました。また、個人部門では、作品数 2 5 7 点の中から、沖野春菜さん (4 年) が「サドテレビ賞」を、増田啓志君 (4 年) が「Teny テレビ新潟賞」を受賞しました。



沖野春菜さんの作品



増田啓志君の作品

本戦大会は 3 月 1 7 日 (土) から新潟県佐渡市で開催され、佐渡島内の自由取材の後、作品一点を共同制作します。

山本 莉奈さん (5 年)
小田 裕子さん (5 年)
越田 帆乃花さん (5 年)
の 3 名が出場します。



山本 莉奈さん



小田 裕子さん



越田 帆乃花さん

◎ 伝統文化教育実践研究 (上田宗箇流)

1 月 2 6 日 (木) に第 2 学年が「ひろしま学」校外学習を行いました。西区古江東町にある上田宗箇流和風堂におじゃまさせていただきました。



上田宗箇流師範の講話、庭園・茶室等見学、茶道体験等とおして、我が国の伝統文化である「和の心」のよさを感じ取ろうとする感性を磨き、人を思いやる心をはぐくむとともに、規範性を基盤とした品格を培う貴重な体験をしました。



以下はこの日の体験を取り上げた「ちゅーピー子ども新聞」の記事からの抜粋です。

『広島・安佐北中生が上田宗箇流体験 安土桃山時代に茶道を究めた人と言え？ まず思い浮かぶのは、教科書で習う千利休かな。その利休の作法や心構えを学んだ武将が広島にいたことを知っていますか。その名は上田宗箇。その心は今に伝わっています。』



ちゅーピー子ども新聞 (2 月)

広島市西区にある上田流和風堂。宗箇の教えを受け継ぐ人たちの茶室があります。安佐北中 (安佐北区) 2 年生が郷土史を学ぶ授

業がここであり、のぞかせてもらいました。

宗箇は豊臣秀吉の家臣として活躍。豊臣家が滅びた後は広島藩で家老を務め、茶の世界に没頭しました。

師範代らの話を聞いた元村 奏さん (14) は「お茶って京都のものだと思ってた」。矢田帆乃香さん (14) は「広島で続いていることを誇りに感じた」と話していましたよ。

お茶席での作法も勉強。箸や茶わんの持ち方、おじぎの仕方…、うう、決まりが多くて頭が混乱しそう。

教えてくれた先生の一人、高西典宏さん (65) は「なぜこういう作法や文化が残ったかゆうたら、みな美しいからよ」。なるほど先生の動きは見ていて美しい。すぐに全部はできないけれど「きれいに、丁寧に」と心掛けてみたら…やった、褒められた。

「一番大切なのは、おもてなしの心」。若宗匠の上田宗箇さん (33) はそう話します。相手を心地よく迎えたい、との願いが形になったというわけ。「茶道を通し、相手を思いやる心を学んでほしいな」。宗箇さんたちの思いです。』

お茶のいただき方

- ①おじぎをする。
- ②茶わんを右手で取り、左手に乗せたら、右手で包むように持つ。
- ③右手で茶わんを手前に 2 回、回す。

なぜ回す？

最も絵柄が美しい茶わんの正面に、口をつけてはもったいない、という気持ちの表れとされる。

- ④ 3 口くらいで飲み、口をつけた所を親指と人さし指で軽くぬぐい、さらに小指でもぬぐう。
- ⑤ 茶わんを③と逆向きに 2 回、回して正面に置く。

◎ 平成 2 3 年度地域等の課題に応じた教育課程研究事業「伝統文化教育実践研究」に係る公開授業の実施について

本校で実践してききました伝統文化教育を中心とする授業実践をご覧いただき、貴重なご意見をいただきたく、来る 2 月 2 9 日 (水) 1 3 時 4 0 分から 1 6 時 4 5 分終了を目途に公開研究授業を行



昨年度のお茶会風景

います。場所は広島市立安佐北中・高等学校昇陽館和室 (セミナーハウス)、視聴覚室 (本館 4 階) です。

◎ ひろしま学『可部の町探検』第 1 学年

2 月 1 4 日 (火) 1 年生 7 9 名が旧「石州街道」の一部である可部旧国道付近を各グループごとに決めたテーマに沿って調査をしました。郷土の歴史、文化、自然、社会等を多角的に学ぶことを目的として可部の町を探検し、次のお店等にもおじゃまさせていただきました。お忙しいところをご協力いただきありがとうございました。

砂屋敷商店・入江呉服店・西村醤油本店
ふろや旅館・重田写真館・可部交番
可笑屋・翠香園・中川醤油・増井醤油
旭鳳酒造株式会社・可部駅

(敬称略)



◎ 安佐北中高百人一首大会 (2 月 1 5 日 (水))

各学年の予選大会で勝ち残った精鋭 1 0 チームが参加し、百人一首本選大会が本校昇陽館和室で行われました。競技は 4 人对 4 人の「源平」で行なわれ、見事 3 年 2 組『安達と愉快な仲間たち』チーム《安達 温・三浦愛理・高崎健輔・森上悠哉・嵐谷勇希》が優勝しました。



準優勝 4 年 3 組『プリンプリン』チーム《山本 菜由・成相晴菜・三郎丸春佳・大野梨紗 山本未来》



3 位 4 年 2 組『ぱらじくろろべんぜん』チーム《三好咲也子・橋本真奈・杉本怜弥子・藤原美緒・日高万由子》

(了)